

学校だより 冬休み特別号

鳥越中学校 12月21日

今年度は、コロナ対応のため、例年より早く、1月5日（火）から3学期が始まります。新しい年によりよいスタートが切れるよう、心身をしっかりと整えておきましょう。

さて、今年を終え、新年を迎えるにあたり、相田みつをさんの書かれた文を思い出したので、一部抜粋し、紹介したいと思います。二人の子をもつ親として、自分自身も、ふと考えさせられる文章です。少し長いですが、じっくり読んでみてください。

負ける練習

「にんげんだもの」（相田みつを）より

～ 楽しくカッコよければ しあわせか ～

ある母親が息子の「就職」の事で私の所へ来ました。その母親の言い分。
「うちの息子は一人息子で、よそ様の子と違いまして大事に育ててきましたので、あんまり骨の折れることや、身体を荒っぽく使う仕事には向かないと思うのです。それに小さな会社や工場ですといつ倒産するかわからず不安ですから、できたら倒産のない大きな会社等のようなところが一番適切かと思うのですが、相田さんのお顔でどこか安定したいいい職場をお世話していただけたらと思ひまして・・・」・・・「ほう、ほう、ほう」聞いている私の顔がほてるような思いでしたが、これが世の親の本音かもしれません。要約すると

- ・我が子にはなるべく骨を折らせたくない。
- ・我が子には一生安楽な生活をさせたい。
- ・途中で倒産なんて不安な思いをさせたくない。

自分の子だけは楽しくいっぱいお金をもらってカッコいい生活をさせたい。この母親の心の底には『親の苦勞は子にさせたくない』と言う切ない気持ちがある訳で一概に否定出来ませんが、こう言う母親のエゴが結果的には子供自身をみんな駄目になっていると私は断言いたします。

そこで私は世の母親達へ次の事を訴えます。

- ・楽しくカッコよければ幸せかと言う事、逆に骨を折る事は不孝かという事、人間の本当の幸せはいったいなんだと言う事。私は人間の本当の幸せとは『充実感のある生き方』だと思っています。骨を折らない、努力を必要としない仕事に充実感はありません。
- ・ごく普通の順序で行く限り子供は親亡き後、一人で生きて行くという事、親亡き後、どんな苦勞にぶつかるかわらぬと言う事。
- ・子供は将来を生きるという事、そして将来の事は何人にも予想がつかぬという事。

我が子には苦勞させたくないと母親のエゴでいくら思っても親亡き後、親よりも苦勞する事がいっぱいあるかも知れない。

そのように腹を据えて将来を見透かすべきです。たとえ親よりも苦勞する事があっても親よりも遅しく、親よりも粘り強く、人生を生き抜いてゆく力と知恵とを子供に与えておくそれが一番正しい親の愛情であり義務であると私は思います。そのためにはどうしたらいいか。結論から先に言います。



負ける練習、恥をさらす訓練、カッコの悪い体験を出来るだけ多く子供にさせておく事です。人間の身体は使った所が強くなります。これは至極単純な原理です。その反対使わない所はどんどん弱くなります。現代っ子にとって一番弱い所はどこか？負けに耐える心、恥に堪える心、カッコ悪さに堪える心です。長い人生には自分の思いが通らぬ場合が沢山あります。思う様にならないのが世の常であり人生です。

それならば人生の的を思う様にならぬ方に合わせるべきです。思う様にならぬそれは言葉を代えれば負ける事です。カッコよく勝つ事ではありません。自分の思う通りカッコよく勝つ事は人生ではごく稀です。だから人生の的を確率の多い<負ける>に合わせて置く事です。それが負ける練習です。小さい時から

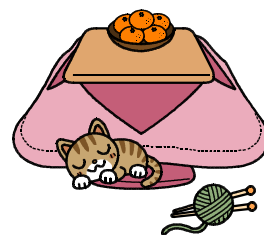


七転び、八起き

「負ける練習」をさせておけば成人してから負けに強い人間になれます。失敗してもへこたれない逞しい人間になれるはずです。人生におけるどんな荒波どんな屈辱にも堪えて真っ直ぐに自分の道を歩いて行けるようなしっかりした『命の根』を作って置いてやるそれが本当の愛情だと思います。楽しんでカッコいい事、つまり、勝つ事ばかり考えて過保護に育てられた子供はその分だけ『命の根』が浅く親亡き後の本人の負担が大きい事を知るべきです

【12月末～1月中旬までの主な予定】

- 12月23日(水) 1, 2年保護者懇談 14:00～
- 24日(木) 1, 2年保護者懇談 14:00～ 学習コンテスト(理科)
- 25日(金) 全校集会・終業式
- 26日(土) 冬季休業～1/4
- 1月 5日(火) 始業式 競書会 給食開始
- 8日(水) 身体計測 育友会役員指名委員会 19:00
- 12日(火) 3年第3回総合テスト 県体スキー
- 13日(水) うれっしゃ会紙芝居1, 2年 県体スキー



生徒の皆さん、冬休み中の課題、学校から出されたものだけでなく、自分なりに考えた課題は用意できましたか。与えられたものだけをこなすことはもちろん、自分でやろうとき決めた課題をしっかりとやるよう頑張りましょう。自分オリジナルの、こだわりのある課題や目標を！

保護者の皆さん、今年も数日を残すばかりとなりました。この学校だよりを通じて毎月の予定をお知らせするとともに、行事を中心にお子さんの学校生活の様子的一端をお知らせしてきました。今年度は、加えて後半からは保護者の皆さんやお子さん、そして、私たち教職員も意識して「共に考えていきたいこと」を少し取り上げさせていただきました。内容的に少し重いなどと思われるものもあったかもしれませんが、生徒一人一人、鳥中生として3年間でよりよき生徒になってほしいとの願いを込めて書いたつもりですのでご理解いただければ幸いです。

本年は誠に有り難うございました。新年におかれましても皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、今年最後の学校だよりとさせていただきます。

